

令和2年度 普及・啓発部会について

1. 在宅医療・介護連携パンフレットの配布と配布先の開拓について

- ・ 手に取りやすい配布方法の工夫……ミリオンハウス等で配布。全戸配布等。
- ・ <配布実績> 武蔵野市在宅医療介護資源マップ（WEB版）の登録手続き時等にPR。
2,025部 配布済（令和3年3月10日現在）

2. 市民セミナーについて

<テーマ> ～住み慣れた地域で、安心して医療と介護を受けるために～
医療と介護の連携や看取りについて学ぶ

<内容> 映画「ピア～まちをつなぐもの～」のオンライン上映

<実施日> 令和3年2月19日（金）～2月25日（木）

<参加者> 118名申込

市のメールアンケート（回答者10名）

<きっかけ> 市報、市のホームページ、市のLINE等。

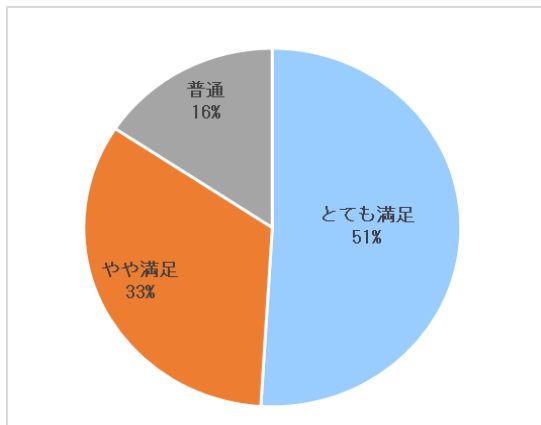
<申し込み方法> メールのみでの申し込みであったが、申込やすかったとの意見が多数を占めた。

<今後希望するテーマ> 災害時の在宅患者への多職種連携、かんたきについて、ACPIについて等

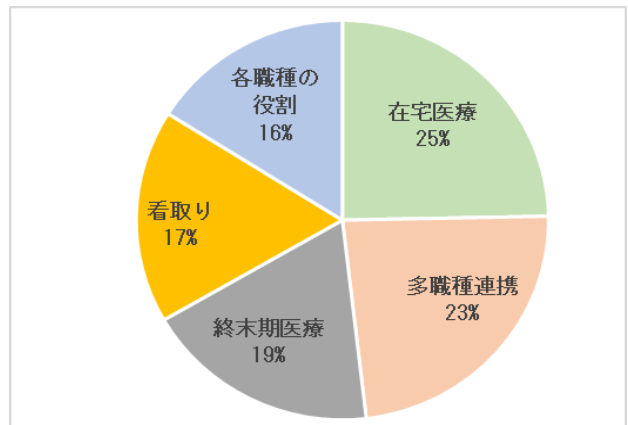
配信会社アンケート（回答者51名）

<視聴者> 最年少30歳、最高齢81歳、平均55.5歳

<満足度>



<勉強になった内容>



<「ピア」をもう一度見たいか> →86.3%が「はい」と回答。

<映画の感想>（一部抜粋）

- ・ 様々な職種との連携が患者の生活を支えられると改めて感じた。
- ・ 退院カンファレンスが直近にあり、リアルに感じ身に染みた。
- ・ 在宅介護の実際を一般市民に知ってもらうための分かりやすい映画だった。
- ・ ケアマネジャーの役割とその関係が具体的に分かってよかった。
- ・ 医師、介護、様々な立場があると思うが、結局当事者がどう関われるのか、それが大切だと感じた。

＜主催者への意見＞（一部抜粋）

- ・ 制限の多いこの時期に、素敵な企画をありがとうございます。
- ・ オンライン上映だと場所も移動せず、気楽に見ることが出来るので助かります。
- ・ 地域医療に参加している者として襟が正される思いと、かけがえのない仕事として改めて感動しました。
- ・ 今後もこういったテーマをどんどん発信し続けてください。特に若い方たちに見て欲しいテーマです。
- ・ とても良い映画を紹介していただきありがとうございました。

3. 小規模セミナー

高齢者支援課では、市民団体向けにエンディング支援事業で出前講座を行っている。事業所も対象としているので、各職種で出前講座を受け、その手法について学ぶ事が出来る。

4. 令和3年度の部会の進め方について

誰もが住み慣れた地域で自分らしい生活を継続できるように、市民に啓発する。

- ・ テーマはアドバンス・ケア・プランニング（ACP）とする。
- ・ <PRのツール> 在宅医療・介護連携のパンフレットや、ホームページの内容の見直し。
- ・ <市民への啓発活動>
 - 市民セミナー（リアルとオンラインの併用を検討）
 - 小規模セミナーの実施の可否について検討。